

講師略歴（敬称略）

※随時更新いたします

三宅 邦明（株式会社ディー・エヌ・エー Chief Medical Officer(CMO)

DeSC ヘルスケア株式会社 代表取締役社長）

1970 年生まれ。1995 年に慶應義塾大学医学部を卒業後、厚生省(現 厚生労働省)に入省。医師免許をもつ医系技官として 20 年以上に渡り勤務。

メタボリックシンドロームなどの生活習慣病、新型インフルエンザなどの感染症の個別疾患に対する対策立案に従事。また、医療情報の適切な提供から医薬品・医療機器の開発支援に至るまで各種施策に携わる。消防庁、在比日本大使館、石川県健康福祉部にも出向。

インターネットや AI を活用し、人々が楽しく継続的に健康でいられる仕組みを民間の現場から提供したいという思いから 2019 年 4 月 DeNA 入社、Chief Medical Officer(CMO)および子会社の DeSC ヘルスケア株式会社 代表取締役社長に就任。

遠山 仁啓（アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 パブリックセクター 技術本部 ヘルスケア市場担当 シニア ソリューション アーキテクト）

東京都生まれ。大学では情報学を専攻。独立系大手 SIer を経て、2003 年 Microsoft へ入社し 2018 年まで 15 年間在籍。Microsoft Japan Healthcare Team 設立準備室を経てチーム起ち上げ、以降医療機関・医療関連ベンダーへのハイタッチセールス、市場開発、ソリューション開発、学会・イベント登壇、執筆などに従事。2018 年 8 月に Amazon Web Services へ移り Healthcare Team 起ち上げ。AWS World Wide Public Sector 所属、Healthcare 専任 Sr. Solutionst Architect。

野村 将揮（Aillis Inc. Chief Creative Officer, 執行役員）

平成元年生、富山県出身。東京大学文科一類、同文学部、在学中の国家公務員試験(経済区分)合格を経て経済産業省入省。福島復興、外為法の運用、ヘルスケア産業振興に携わる過程で、成長戦略をはじめとする閣議決定の草案作成、規制緩和、予算措置などに従事。

平成 30 年 11 月、医療 AI スタートアップ Aillis Inc.入社、執行役員として法務からファイナンスに至るまで広く対応、令和元年 7 月より同社 Chief Creative Officer。（同社は創業後 1 年半でシリーズ B までに計約 18 億を調達、経済産業省「J-Startup」にも選出。）

令和元年 7 月より大阪府「万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン有識者ワーキンググループ」有識者委員。ほか、経済産業省「万博計画具体化検討ワーキンググループ」登壇、Abema TV「平成から令和へ ホリエモン VS ポスト堀江世代！」出演など多数。

World Economic Forum(ダボス会議) Global Shaper 選出、サンガレン・シンポジウム"100 Leaders of Tomorrow(Hand-selected)"選出、東京大学総長賞団体受賞(会長在任時)、剣道四段(歴 23 年)。

宮田 裕章 (慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授)

2003年3月 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了,
同分野 保健学博士 (論文)

早稲田大学人間科学学術院助手,

東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座助教を経て

2009年4月より東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 准教授

2014年4月より同教授 (2015年5月より非常勤)

2015年5月より慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

2016年10月より国立国際医療研究センター国際保健政策・医療システム研究科 グローバルヘルス政策研究センター 科長 (非常勤)

- ・厚生労働省 参与 (2015年9月～)
- ・日本医師会 客員研究員 (2016年6月～)
- ・厚生労働省 保健医療2035策定懇談会構成員
- ・内閣府 茂木大臣懇談会 「パラダイムシフトと日本のシナリオ」メンバー
- ・厚生労働省 データヘルス改革推進本部 データヘルス・審査支払期間改革アドバイザーグループ構成員 (2017年12月～)
- ・厚生労働省 保健医療分野における ICT 活用推進懇談会 構成員
- ・厚生労働省 データヘルス時代の質の高い医療の実現に向けた有識者検討会 構成員
- ・厚生労働省 新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会 構成員
- ・厚生労働省 保健医療分野における AI 実装推進懇談会 構成員
- ・大阪府 2025年万博基本構想検討会議メンバー
- ・福岡市 福岡市健康先進都市戦略策定会議 メンバー
- ・静岡県「社会健康医学」基本構想検討委員会メンバー
- ・沖縄県 健康・医療産業活性化戦略策定業務検討委員会・ワーキンググループ委員
- ・新潟県 健康情報管理監

田上 佑輔（医療法人社団やまと 理事長）

熊本出身。東京大学医学部卒業後は千葉県国保旭中央病院の研修医を経て東京大学医学部附属病院腫瘍外科に入局。東日本大震災での災害ボランティア活動を機に2013年に宮城県登米市と東京にやまと在宅診療所を創設。毎週登米と関東を行き来し、診療以外にも地域住民や行政と関わり、登米市の地域包括ケアアドバイザーを務める。各地でこれからの在宅医療・地域医療についての勉強会、講演を行っている。今年度日本在宅医療連合会認定専門医。

野村 広之進（みずほ証券株式会社 エクイティ調査部 シニアアナリスト）

【略歴】

2003年-2007年 東北大学 薬学部
2007年-2009年 東北大学 大学院薬学研究科 生命薬学専攻
2009年-2014年 三菱総合研究所 戦略コンサルティング本部 研究員
2015年- みずほ証券 エクイティ調査部 シニアアナリスト

【ランキング】

2016年 Thomson Reuters Analyst Award ヘルスケア 1位（銘柄選定）
2019年 日経ヴェリタス アナリストランキング 医薬品・ヘルスケア 9位
2019年 Institutional Investor Biotechnology&Pharmaceuticals 4位

高宮 慎一（株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー）

グロービス・キャピタル・パートナーズ（GCP）ではインターネット領域の投資を担当。投資先に対してハンズ・オンでの戦略策定、経営の仕組化、組織造り、国内外の事業開発の支援を実施。

GCP参画前は、戦略コンサルティング会社アーサー・D・リトルにて、ITサービス企業に対する事業戦略、新規事業戦略、イノベーション戦略立案などを主導。東京大学経済学部卒(卒論特選論文受賞)、ハーバード大学経営大学院MBA(二年度優秀賞)。2018年『Forbes Japan's Medas List 日本で最も影響力のあるベンチャー投資家ランキング1位』。

実績/支援先：

実績には、IPO にアイスタイル(東証 3660)、オークファン(東証 3674)、カヤック(東証 3904)、ピクスタ(東証 3416)、メルカリ(東証 4385)、M&A にしまうまプリントシステム(CCC グループ入り)、ナナピ(KDDI グループ入り)などがある。現在支援先には、ランサーズ、ビーバー、タイマーズ、クービック、リブルー、ミラティブ、ファストドクター、グラシアなどがある。

高梨 健 (株式会社 新日本科学 代表取締役副社長 COO)

東京大学経済学部卒業後、三菱商事本社及びシンガポール支店にて華僑グループとの合弁物流事業の立ち上げに携わる。1996 年よりマレーシア公開企業にて不動産開発サービス事業を推進。2002 年に受託研究機関の新日本科学に入社し、同社が東証マザーズ(2004 年)・東証 1 部(2008 年)への上場を経て成長する中、役員として日米アジアにてバイオベンチャー 14 社を含む 30 社以上のグループ会社の起業/経営に取組み、受託サービス及びトランスレショナルリサーチ事業を推進。内 WAVE Life Sciences Ltd.(以下 Wave)は 2015 年 11 月に、Satsuma Pharmaceuticals, Inc.(以下 Satsuma)は 2019 年 9 月に、それぞれ米国ナスダック市場に株式公開。現在、新日本科学代表取締役副社長 COO・Wave 及び Satsuma 取締役他関連企業の役員を多数兼務。米国公認会計士。経営学修士(The University of Warwick)。

- 1987年3月 東京大学 経済学部 経営学科卒
 - 1987年4月 三菱商事株式会社入社
 - 1996年12月 Suasa Kristal (M) Bhd.入社
 - 2002年12月 株式会社新日本科学入社
 - 2004年6月 株式会社新日本科学 専務取締役就任
 - 2012年7月 Wave Life Sciences, Ltd. 取締役就任(兼任)
 - 2016年6月 Satsuma Pharmaceuticals, Inc. 取締役就任(兼任)
 - 2016年7月 株式会社新日本科学 取締役副社長就任
 - 2017年6月 株式会社新日本科学 代表取締役副社長兼 COO 就任(現任)
- 米国公認会計士 (2004 年 4 月取得)
- 経営学修士 (The University of Warwick/2010 年 6 月卒)

福田 真嗣（株式会社メタジェン 代表取締役CEO）

学歴および職歴：

2001年3月 明治大学農学部農学科 卒業
2003年4月 日本学術振興会特別研究員(DC1)
2006年3月 明治大学大学院農学研究科生命科学専攻 博士課程修了 博士（農学）
2006年4月 理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター リサーチアソシエイト
2007年4月 理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター 基礎科学特別研究員
2007年4月 横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科 大学院客員研究員兼任
2010年4月 理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター 研究員
2012年6月 慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授
2012年6月 理化学研究所統合生命医科学研究センター 客員研究員 兼任
2015年3月 株式会社メタジェン 代表取締役社長CEO 兼任
2015年10月 科学技術振興機構 さきがけ研究者 兼任（～2019年3月まで）
2016年7月 筑波大学医学医療系 客員教授 兼任
2017年4月 神奈川県立産業技術総合研究所 グループリーダー 兼任
2019年4月 慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任教授
2019年8月 マレーシア工科大学客員教授 兼任
2019年10月 科学技術振興機構ERATO 共生進化機構 副研究総括 兼任
現在に至る

受賞歴：

2019年 日本農芸化学会2019年度大会 トピックス賞
2017年 バイオインダストリー協会 第1回バイオインダストリー奨励賞
2016年 安藤スポーツ・食文化振興財団 第21回安藤百福賞 発明発見奨励賞
2015年 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術への顕著な貢献2015
2015年 第1回バイオサイエンスグランプリ 最優秀賞
2014年 山形県科学技術奨励賞
2014年 三島海雲記念財団 三島海雲学術賞
2013年 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞
2012年 日本ビフィズス菌センター 研究奨励賞
2011年 Bill & Melinda Gates Foundation Scholarship, Keystone Symposia: Gut-Microbial Interactions and Mucosal Immunity to Vaccines
2011年 日本免疫学会 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
2011年 日本生物工学会 生物工学論文賞
2010年 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター-Outstanding Contribution of the Year 2010

2010 年 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センターExcellent Paper Award 2010
2010 年 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センターリトリートポスター賞
2009 年 理化学研究所 平成21 年度成果発表会ポスター賞
2009 年 ネスレ栄養科学会議 論文賞
2009 年 Young Investigator Travel Award, 14th International Congress of Mucosal Immunology (ICMI2009)
2006 年 第12 回Hindgut Club Japan シンポジウム 奨励賞

略歴：

2006 年明治大学大学院農学研究科博士課程を修了後、理化学研究所基礎科学特別研究員などを経て、2012 年より慶應義塾大学先端生命科学研究センター特任准教授。2019 年同特任教授。
2016 年より筑波大学医学医療系客員教授、2017 年より神奈川県立産業技術総合研究所グループリーダー、2019 年よりマレーシア工科大学客員教授、JST ERATO 副研究総括を兼任。
2013 年文部科学大臣表彰若手科学者賞受賞。2015 年文部科学省科学技術・学術政策研究所「科学技術への顕著な貢献2015」に選定。同年、第1 回バイオサイエンスグランプリにて、ビジネスプラン「便から生み出す健康社会」で最優秀賞を受賞し、株式会社メタジェンを設立。代表取締役社長CEO に就任。2019 年に経済産業省を中心とした官民が推進するスタートアップ育成支援プログラム「J-Startup」に選定。
専門は腸内環境制御学、統合オミクス科学。

寺内 淳(一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム 運営委員長 / 小野薬品工業株式会社 研究本部 研究プロジェクト統括部プロジェクト評価室 室長)

1963 年 大阪生まれ

学歴・職歴

1991 年 京都大学工学研究科合成化学専攻博士課程修了

1991 年 武田薬品工業入社、主に創薬化学研究・中枢創薬研究に従事。

2000 年 米国ピッツバーグ大学博士研究員

2014 年 小野薬品工業に入社、主に研究マネジメント業務に従事、現在に至る。

マイクロバイオーム活動

2015 年 マイクロバイオームコンソーシアム準備ワーキングチームの立ち上げに関与し、JMBC の設立に向けた準備を進める。

2016 年 JMBC 立ち上げとともに、運営委員長に専任され現在に至る。

NEDO 先導研究プログラムや戦略的イノベーション創造プログラムに JMBC が採択され、研究活動を進めている。

専門は、マイクロバイオーム、創薬研究戦略、プロジェクト・ポートフォリオマネジメント

ト、メディシナルケミストリー、有機合成化学、中枢神経系創薬研究。

過去の社外活動

ヒューマンサイエンス振興財団理事、一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム（JBIC）理事、日本製薬工業協会研究開発委員会副委員長等を歴任

神田 裕二（社会保険診療報酬支払基金 理事長）

昭和33年愛知県生まれ

社会保険診療報酬支払基金 理事長

県立広島大学 大学院 経営管理研究科 客員教授

兵庫県立大学経営研究科客員教授

昭和57年 東大法学部卒業 厚生省入省

老人福祉課、広島市高齢者福祉課長・社会課長、保険局医療課を経て、

平成8年の法案提出から平成12年の施行まで介護保険制度の立ち上げに携わる。平成18年から保険局国民健康保険課長と高齢者医療制度施行準備室長を兼務し平成20年の高齢者医療制度の施行に携わる。

その後、保険局総務課長、内閣官房審議官（経済財政運営担当）、大臣官房審議官（医療保険、医政、医療・介護連携担当）、医薬食品局長を経て、平成27年10月より平成29年7月まで医政局長

平成29年7月厚生労働省退官

平成29年10月～ 兵庫県立大学経営研究科客員教授

平成30年4月～ 県立広島大学大学院経営管理研究科特任教授

平成30年12月～ 社会保険診療報酬支払基金 理事長

小坂 雅人（東京海上日動 個人商品業務部 ヘルスケア部門専門部長）

学歴：東京大学医学部保健学科卒、ロンドン大修士（公衆衛生学）、筑波大博士（学術）

職歴：1990年東京海上火災保険入社。医療経済研究機構、東京海上研究所、東京海上日動あんしん生命保険企画部等を経て、2011年より東京海上日動火災保険個人商品業務部。東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員、筑波大学大学院人間総合科学研究科非常勤講師を兼任。

久米 康樹（SOMPOホールディングス株式会社 シニアマーケット事業部長）

出身	徳島県
学歴	東京大学文学部卒業
平成 7年 4月	安田火災海上保険株式会社入社
平成 8年 4月	大阪中央支店営業第三課
平成13年 7月	人材開発部
平成14年 7月	株式会社損害保険ジャパン【合併 による社名変更】 人事部
平成18年 4月	自動車業務部
平成24年 4月	自動車業務部リーダー
平成26年 2月	秘書部リーダー (兼) NKS Jホールディングス株式会社(現・S OMPOホールディングス株式会社)(出向) 秘書 部長席付リーダー
平成28年10月	SOMPOホールディングス株式 会社(出向) 介護・ヘルスケア 事業部 特命部長 (兼) SOMPOケア株式会社(出向) 取締役 社 長室長
平成29年 4月	SOMPOホールディングス株式 会社(出向) 介護・ヘルスケア 事業部長 (兼) SOMPOケア株式会社(出向) 取締役 社 長室長)
平成29年 7月	SOMPOケアメッセージ株式会社(出向) 執行 役員 CEO室長 (兼) SOMPOケアネクスト株式会社(出向) 執 行役員 CEO室長
平成30年 4月	SOMPOホールディングス株式会社(出向) シ ニアマーケット事業部長(現任) (兼) SOMPOケア株式会社(出向) 執行役員 (兼) SOMPOケアネクスト株式会社(出向) 執 行役員
平成30年 6月	SOMPOケア株式会社(出向) 執行役員 CS O(最高戦略責任者) (現任)

加藤 大策(明治安田総合研究所 取締役執行役員 ヘルスケア・デジタル研究部長)

1991年4月 明治生命保険相互会社（現、明治安田生命保険相互会社）入社
2019年4月より明治安田総合研究所 ヘルスケア・デジタル研究部長に就任
情報システム部門、企画部門にて、中長期・年度の計画立案・推進等に主に従事し、
当研究所着任前の3年間は明治安田生命にてイノベーションの調査・実践を担当し、アイ
デアソン・ハッカソンの主催や大学等との共同研究を推進
現在、当研究所にてヘルスケア・デジタル領域の中長期の進展による、特に生命保険
関連する、社会変化の調査、研究を推進

西原 基夫（日本電気株式会社 取締役 執行役員常務 兼 CTO）

1985年NEC入社。ネットワーク製品、セキュリティ製品、インターネットシステム等の開
発、研究に従事。

現在、国内および海外研究所（USA、ドイツ、中国、シンガポール、イスラエル、インド）
を統括し、さらに全社の技術イノベーションの戦略、各種技術の管理、全社の知財の投資
および管理を担っている。

2016年4月執行役員、19年4月執行役員常務兼CTO を経て現職
東京大学工学部計数工学科卒業

Carnegie Mellon University（CMU）,
Master of Science in Electrical and Computer Engineering 取得

藤川 修（日本電気株式会社 執行役員）

1988年NEC入社。銀行、証券、保険など金融機関向けシステムの開発部門にて、セールス、
システムエンジニア、企画に従事。

2010年よりシンガポールの地域統括会社であるNEC Asia Pacific Pte Ltdに出向し、東南ア
ジアにおける金融市場向け新事業の立上げに携わる。

2013年にNECに復職。2014年、事業イノベーション戦略本部長として、ヘルスケアや農業
など全社共通領域でのビジネスインキュベーション、社内の新事業開発を加速するエコシ
ステム構築などを推進。

2017年に新規事業開発および全社注力事業を統括するビジネスイノベーション統括ユニッ

ト（2018年度よりビジネスイノベーションユニット）担当の執行役員に就任し、社内投資案件の企画・運営やベンチャーキャピタル投資のマネジメント、ベンチャー、大学などのオープン・イノベーション促進などの新事業開発に取り組む。

早稲田大学理工学部機械工学科卒業

《社外での活動》

サイトリミック株式会社取締役

NEC X, Inc. 取締役

中野 壮陸（公益財団法人 医療機器センター 専務理事）

1996年 東京電機大学理工学部卒業、2005年 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科修了、2006年 東京女子医科大学バイオメディカル・カリキュラム修了、2008年 芝浦工業大学大学院工学研究科博士（後期）課程修了。1996年から当財団勤務、薬事事業部及び研究開発部、医療機器産業研究所主任研究員等を経て2014年から当財団専務理事（現職）他に、（一社）日本医療機器学会 理事・編集委員会委員、（一社）レギュラトリーサイエンス学会 運営委員会委員、（一社）日本臨床工学技士会 理事、NPO 法人海外医療機器技術協力会（OMETA）理事、早稲田大学理工学術院非常勤講師、法政大学比較経済研究所兼任研究員、厚生労働省 医療機器・再生医療等製品国際標準獲得推進検討会 委員（2018年度～現在）、厚生労働省 医療機器産業海外実態調査 有識者委員会 座長（2018年度～現在）、AMED各種評価委員等

藤原 康弘（独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事長）

昭和35年2月14日生

1984年3月広島大学医学部医学科卒

1984年4月国家公務員等共済組合連合会呉共済病院内科研修医

1986年6月国立がんセンター病院内科レジデント

1989年7月同研究所薬効試験部研究員

1992年4月広島大学医学部附属病院総合診療部（第2内科）助手

（この間、UICC fellowとしてシカゴ大学医療センター、ジョンズ・ホプキンス大学腫瘍センター、日本学術振興会海外COE派遣研究者としてメリーランド大学がんセンターで臨床薬理学・腫瘍内科学を研鑽）

1997年10月 国立衛研医薬品医療機器審査センター（現PMDA）に転任新薬審査に従事

2002年4月 国立がんセンター中央病院医長に転任

2007年4月 同臨床検査部長

2008年10月 同臨床試験・治療開発部長

2010年6月(独)国立がん研究センター中央病院副院長(経営担当)

兼乳腺科・腫瘍内科科長

2011年1月 内閣官房医療イノベーション推進室次長併任（2013年2月まで）

2012年7月（独）国立がん研究センター執行役員企画戦略局長

2015年4月 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院副院長（研究担当）併任（2019年3月まで）

2016年4月 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事長特別補佐併任（2019年3月まで）

2019年4月 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事長

専門医・所属学会

- ・ 日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会呼吸器専門医
- ・ 日本臨床腫瘍学会理事（2019年総会会長）、日本癌学会評議員

教育

- ・ 東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学講座客員教授（平成18年（2006）～）
- ・ 北里大学大学院客員教授（令和元年（2019）～）

省庁委員会委員

- ・ 厚労省先進医療会議委員
- ・ 同先進医療技術審査部会委員
- ・ 同厚生科学審議会臨床研究部会委員

専門領域：腫瘍内科学（がん化学療法）、レギュラトリーサイエンス

Editorial Board：5誌

Cancer Chemotherapy and Pharmacology、Investigational New Drug、Cancer Sciences

Japanese Journal of Clinical Oncology、Asia-Pacific Journal of Clinical Oncology

英語原著論文 230 編超（Nature Reviews Drug Discovery, Lancet Oncology, Journal of Clinical Oncology など）

福永 浩司（東北大学大学院薬学研究科 薬理学分野 教授）

略歴：

1978 年 熊本大学薬学部製薬学科卒業
1980 年 熊本大学大学院薬学研究科修士課程修了
1980 - 1990 年 熊本大学医学部助手 (薬理学)
1985 年 医学博士 (熊本大学)、研究課題「脳の Ca^{2+} /カルモデュリン依存性プロテインキナーゼ II (CaMKII) の同定」
1988 - 1990 年 米国バンダービルト大学医学部 HHMI 博士研究員
1990 年 熊本大学医学部講師
1993 年 同助教授
2002 年 7 月から現職、東北大学大学院・薬学研究科・教授
2012 - 2016 年 *Journal of Pharmacological Sciences* の編集委員長
2012 年から 浙江大学客員教授、蘇州大学客員教授

受賞歴：

1993 年；熊本医学会奨励賞
1993 年：日本薬理学会学術奨励賞

研究テーマ：

神経可塑性における Ca^{2+} /カルモデュリン依存性キナーゼ II (CaMKII) の役割
神経可塑性をターゲットにした創薬研究 (アルツハイマー病、レビー小体型認知症治療薬開発)
精神疾患におけるスパイン形成異常における CaMKII の役割 (精神遅滞治療薬開発)
神経変性疾患のミトコンドリア機能異常におけるシグマ-1 受容体の役割 (ミトコンドリア機能改善薬開発)

所属学会：日本薬理学会理事、日本脳循環代謝学会理事、日本脳科学会理事、日本 NO 学会理事

研究の概略：

1982 年世界で最初に Ca^{2+} /カルモデュリン依存性プロテインキナーゼ II (CaM キナーゼ II) を発見した (*J. Neurochem.* 1982)。以後、神経可塑性における CaM キナーゼ II の役割を追究している。CaM キナーゼ II を治療標的分子として、脳機能改善薬 (SAK3) を開発した。レビー小体型認知症における α シヌクレイン凝集を抑制する治療候補薬 (MF101) を開発した。CaM キナーゼ II は精神遅滞や統合失調症におけるスパイン形態異常に関与する。精神遅滞、自閉症の QOL を改善する治療薬を開発した。

参考文献：

1. Inhibition of MPTP-induced α -synuclein oligomerization by fatty acid-binding protein 3 (FABP3) ligand in MPTP-treated mice. Matsuo K, Cheng A, Yabuki Y, Ykahata I, Miyachi H, **Fukunaga K.** *Neuropharmacology* 2019;150:164-174.(Discovery of novel Lewy body dementia therapeutics)
2. Targeting G-quadruplex DNA as cognitive function therapy for ATR-X syndrome. Shioda N, Yabuki Y, Yamaguchi K, Onozato M, Li Y, Kurosawa K, Tanabe H, Okamoto N, Era T, Sugiyama H, Wada T, **Fukunaga K.** *Nature Medicine* 2018;24:802-813. (Discovery of novel mental retardation therapeutics)
3. The Disease-modifying drug candidate, SAK3 improves cognitive impairment and inhibits amyloid beta deposition in App knock-in mice. Izumi H, Shinoda Y, Daito T, Saido TC, Sato K, Yabuki Y, Matsumoto Y, Kanemitsu Y, Tomioka Y, Abolhassani N, Nakabeppu Y, **Fukunaga K.** *Neuroscience* 2018;377:87-97.(Discovery of novel Alzheimer's therapeutics)

辻川 和丈 (大阪大学大学院薬学研究科 細胞生理学分野教授
化合物ライブラリー・スクリーニングセンター長 創薬センター長)

【略歴】

- 1984. 3 大阪大学大学院薬学研究科 修了
- 1984. 4 藤沢薬品工業株式会社 研究員
- 1988. 4 大阪大学薬学部 助手
- 1993.10 ハーバード大学ダナ・ファーバー癌研究所 研究員
- 2006. 4 大阪大学大学院薬学研究科 助教授
- 2007. 4 大阪大学大学院薬学研究科 准教授
- 2012. 9 大阪大学大学院薬学研究科 教授
- 2016. 4 大阪大学大学院薬学研究科 創薬センター構造展開ユニット長
- 2017. 7 大阪大学大学院薬学研究科 化合物ライブラリー・スクリーニングセンター長
- 2018. 4 大阪大学大学院薬学研究科 創薬センター長
- 2018. 4 大阪大学評議員

現在に至る

【受賞】

- バイオビジネスアワード Japan 大賞
- 日本微量元素学会会長賞
- 日本薬学会近畿支部奨励賞
- 免疫毒性学会大会賞

大阪大学教育・研究功労賞

大阪大学総長顕彰

萩原 正敏（京都大学大学院医学研究科 形態形成機構学教室 教授）

1958年7月8日生まれ

昭和59年三重大学医学部卒業

昭和63年三重大学大学院医学研究科博士課程（薬理学専攻）修了

医学博士

自分達が創生した化合物を武器に、未知の細胞内制御機構を解明することと、既存の薬では不治の患者を救う薬を作ることが、人生の夢。

<職歴>

昭和63年名古屋大学医学部薬理学講座助手

平成3年 Salk Institute（米・サンディエゴ）Postdoctoral Fellow

平成5年名古屋大学医学部解剖学第三講座講師、7年同助教授

平成9年東京医科歯科大学難治疾患研究所教授

平成15年同大学院疾患生命科学部教授・大学院生命情報科学教育部長、同知的財産本部総括マネージャー兼務

平成20年東京大学生物機能制御化合物ライブラリー機構客員教授兼務

平成22年京都大学 大学院医学研究科形態形成機構学教室教授（現任）

<専門分野>

分子生物学、ケミカルバイオロジー、薬理学、解剖学

<主な研究テーマ>

- 1) RNA病の病態解明
- 2) RNA を標的とした遺伝病治療薬の開発

<受賞歴>

昭和63年 三医会賞受賞

平成27年 京都新聞大賞「文化学術賞」受賞

平成29年 FAOBMB Entrepreneurship 賞 受賞

平成29年 江橋節郎賞 受賞

大澤 裕樹（株式会社RDサポート 代表取締役 株式会社アイメックRD 代表取締役社

長 株式会社ヘルスケアシステムズ 取締役 一般社団法人ウェルネスフード推進協会 常任理事)

■生年月日:1973 年 10 月 13 日

■出身地:東京都

■プロフィール 千葉大学大学院中退後、1998 年、株式会社RDサポート設立。

「食・健康」分野に特化した人材事業で創業。これまで 1000 社以上に支援。

多くの食・ヘルスケア・メディカル関連のベンチャー起ち上げ、経営に携わる。

RDグループとして、産業・事業・雇用の創造・創出の実現を目指す。

■略歴

1973 年:東京都小金井市で生まれる

1998 年:千葉大学園芸学部卒業

1998 年:千葉大学自然科学研究科修士課程

1998 年:有限会社アールアンドディサポート設立、代表取締役就任

2002 年:株式会社アールアンドディーサポート(現:RDサポート)に組織変更、代表取締役就任

2009 年:名古屋大学発ベンチャー、株式会社ヘルスケアシステムズ取締役就任

2011 年:「日本を健康にする!」研究会起ち上げ 事務局長就任

2016 年:展示会「ウェルネスフードジャパン」創業 「ウェルネスフードジャパン」の運営会社として株式会社ウェルネッサ設立、取締役就任

2018 年:株式会社アイメックRD設立、代表取締役会長就任

2019 年:一般社団法人ウェルネスフード推進協会設立、常任理事就任

2019 年:株式会社アイメックRD 代表取締役社長就任

■所属・役職

- ・株式会社RDサポート 代表取締役
- ・株式会社アイメックRD 代表取締役社長
- ・株式会社ウェルネッサ 取締役
- ・株式会社ヘルスケアシステムズ 取締役
- ・株式会社アイムメディカルリソース 取締役
- ・一般社団法人ウェルネスフード推進協会 常任理事
- ・ウェルネスフードジャパン実行委員会
- ・SPORTEC 実行委員会

丹羽 真清 (デザイナーフーズ株式会社 創業者 現顧問)

椙山女学園大学 家政学部 食物学科管理栄養士専攻卒業

食品メーカーに8年間在籍

退社後『食のコーディネーター』として独立

1999年 デザイナーフーズ株式会社を設立

2010年 野菜のショールーム、ベジマルシェをアークヒルズにオープン（～2013年12月閉店）する

2013年 デリカフーズ（現デリカフーズホールディングス）株式会社代表取締役社長に就任

2014年 生鮮業界で初めて一部上場する

2016年 日本ヘルスケア協会「野菜で健康推進部会」設立 部会長を務める

2017年 デリカフーズホールディングス株式会社 取締役未来創造最高役員に就任

2020年 役職を退任し、野菜の本質的な普及活動に専念する

食べ方をデザインし、外食産業が「食の病院」食品メーカーが「食の薬局」になるための情報提供、商品開発、企画提案をコンサルティングとして行う。

野菜ビジネスを通して日本人の健康寿命延伸に貢献したいと考えている。

大学などの各種研究機関と提携し食品、特に野菜の成分分析・食品の活性酸素消去能の研究、野菜の抗酸化能を非破壊で測定する技術開発を行ってきた。

食で日本を健康にしていく活動を行っている。

（社）日本アマニ協会設立発起人 理事

（財）日本ヘルスケア協会 理事 「野菜で健康推進部会」部会長

（社）日本摂食障害協会 エキスパートアドバイザー

著書

『データが語る おいしい野菜の健康力』 ISBN:978-4-621-08520-2

『おいしいものは体にいい』 ISBN:978-4-903458-11-3

『乳がんの人のための日常レシピ』 ISBN:978-4-907083-25-0

『抗酸化の科学』 ISBN978-47598-1420-0

木村 毅（味の素株式会社 アドバイザー、日本食品添加物協会会長、日本食品衛生協会副会長、健康食品産業協議会理事（前会長）APEC PPFS（食糧安全保障に関する政策パートナーシップ）WG3議長、International Life Sciences Institute(ILSI)評議員（前共同議長）、米国モネル化学感覚研究所国際アドバイザー）

ロンドン大学キングズカレッジにて1984年に博士課程終了。Visiting Fellow および Visiting Associate として米国国立衛生研究所 (NIH) にて研究後、1989年に味の素株式会社に入社。生物科学研究所、製品評価室を経てワシントン事務所長に就任（1992-1997）。その後ライフサイエンス研究所安全性基礎研究グループ長、品質保証部長、研究開発企画部長に就任。2009年より執行役員、2013年より取締役常務執行役員、2019年よりアドバイザー。

日本食品添加物協会会長、International Life Sciences Institute(ILSI)理事、APEC 食料安全保障に関する政策パートナーシップ WG 3 議長等を兼任。

Nature, Journal of Molecular Biology, Journal of Nutrition, American Journal of Clinical Nutrition 等に論文掲載。